

【R6】No.7 岩手県岩手町（リビングラボの運営等支援）

地域力創造アドバイザー	藤倉 潤一郎氏（A580）
活用分野	関係人口の創出拡大
活用期間（頻度）	令和5年度～令和6年度（月4、5回程度）
キーワード	#リビングラボ #官民学連携 #関係人口 #地域の担い手 #政策形成 #魅力発掘 #起業支援 #中心市街地活性化 #フューチャーセンター #民間主導 #地域間連携 #空き家のリノベーション

【目的】

町民の意見を反映した政策形成及び、岩手町の課題解決及び関係人口創出を目的としたリビングラボに関して、民間主導によるプロジェクトの立ち上げ・運営や、行政主体から民間主体となるリビングラボの自立化に向けた運営体制の構築を目的とする。

【内容】

- 岩手町リビングラボの運営支援、コーディネーターとの各種調整
- 町内外に取り組みを発信するフォーラムの企画調整（イベント実施）
- 官公庁や他自治体にラボ活動をアウトリーチするための助言、サポート
- 地域課題解決に向けた実施主体となる組織の設立支援



ものづくりラボ



森林ラボ

【成果（見込み）】

- リビングラボプロジェクトでは、プロジェクトマネージャーを務め、各プロジェクト運営を企画・推進し、首都圏と地方を接続する人材ネットワークを構築。
- 丸紅㈱と連携したプラスチックの油化を行う実証実験をきっかけに、東北では仙台に次ぐ2か所目となる、プラスチックの一括回収を令和6年4月から実施。
- リビングラボで町民から要望のあった「宿泊施設の不足」に対し、移動式の木造住宅「ムービングハウス」を宿泊施設として利用。年間では1,300人（2025年）が利用。
- 道の駅の産直施設にサイネージ端末とAIカメラを設置し、顧客分析を行うなど経営戦略に活用して売り上げアップに貢献。
- 地元テレビ局や観光会社と連携し、町の田んぼアート活用をしたグリーンツーリズム一体型プロジェクトで約200人の交流・関係人口創出に寄与。ほかにもプロジェクトが多数創出。



フォーラムの事例発表